



ごあいさつ

桜山同窓会長

益本洋子



卒業生の皆さんお変わりございませんか、お久しぶりで。コロナ禍の影響により、長い間大勢で集まる機会を断念せざるを得なく寂しい思いをしましたが、久しく、今年はお互々注意を払って、当番幹事の皆さんのご協力により、開催する運びとなり、大変慶んでおります。

今年、第四代理事長松井忠夫先生をはじめ、第八代学長大井治實先生と共にお世話になった諸先生方をお招きして、桜山同窓会総会並びに懇親会を開催できますことを誠に嬉しく思っております。

創立者「河野タカ」先生にご指導を受けた卒業生もだんだんと数少なくなりましたが、伝統と文化はしっかりと受け継がれております。私は、昭和三十四年の卒業です。近年世の中が急速にデジタル化している昨今、学園は大きく変わりました。二〇二六年には、学園創立百周年を迎えることとなります。創立者河野タカ先生の建学の精神を心に、校訓である「自覚」「感謝」「温雅」を

付属高校の今

校長

大井治實



同窓生の皆様には、ますます御健勝、御活躍のこととお

高 校 訓 正 自覚 感謝 温雅

大切に、お世話になった先生方への感謝の気持ちを忘れず、一人一人与えられた人生を日々悔いなく送ってください。限られた時間の中ではございますが、どうぞ有意義な時間をお過ごしください。三年後、学園創立百周年記念式典には、元気でおいいたしましょう。終わりにになりましたが、ご来賓の先生方と、同窓生の皆様のご健康とご活躍を祈念して、私のあいさつといたします。

喜び申し上げます。また、平素より母校に対する深い愛情とともに、多大な御支援と御協力を賜り、心より感謝申し上げます。

河村茂実校長の後任として、令和二年度より八代目の校長を務めさせていただきます。私は、下関市を代表する私学として期待を寄せられている本校に

発行人 桜山同窓会事務局 下関市桜山町1番1号 TEL 083-223-0338 FAX 083-231-1681 印刷 (株)吉村印刷 下関市中之町5番9号 TEL 083-232-1190 FAX 083-232-1189

は、昭和六十三年度(一九八八年)から二十一年間教諭として、その後教頭として十年間勤務させていただきました。令和二年度からは校長としての勤務となり、責任の重さをひしひしと感じております。浅学非才ではございますが、本校発展のために持てる力の全てを発揮し、皆様方の期待に応えるべく努力をして参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、コロナ禍の影響で、四年ぶりの開催となりました同窓会総会によせて、現況をお知らせしたいと思います。歴史と伝統を継承しつつも、令和元年度からは本校始まって以来初の全科男女共学となり、本校の新たな挑戦が始まっています。これまでの伝統を受け継ぎ、未来を展望し、さらなる発展を目指し、「何をどのようにならるか」、学校で

学び身につけたことを、社会に出てからも生かして、地域に貢献できる人材を育てるため、努力をしまいたいと思います。そのためには、生徒理解に努め、生徒と教員との信頼関係を基盤に、生徒一人ひとりのよさや可能性を引き出すことができるよう、教職員一同努力しています。下関地区唯一の調理師養成施設の認可を有す調理科は、食に係る進学や就職を進路先として、この春には三期生を送り出し、食のスペシャリスト養成学科としての地位を高めています。普通科は、短大との高大連携協定締結により、高校在学時に短大の科目を履修修得できる制度や、保育コースでは短大の先生による保育技術の指導など、高校と短大との連携がこれまで以上に深化してきています。部活動ではソフトボール部が、平成最後の全国選抜大会への出場が決定しましたが、コロナ禍の影響で中止となり、大変残念な結果となりました。コロナ禍の三年間ではありましたが、本校では様々な制約や規制はあったものの、積極的に学校行事や学校運営に取り組

みました。今年度百名の入学
生を迎え、母校はますます元
気であることをお知らせいた
します。

今後も、恵まれた教育環境
を活用し、同窓生の皆様方に
とって、「誇れる母校」とし
て在り続けるよう、教職員一
丸となって、河野学園、付属
高校のさらなる充実・発展に
邁進していきたいと存じま
す。母校への変わらぬ御声援
と御支援を賜りますよう、お
願い申し上げます。

おわりに、桜山同窓会のま
すますの御発展と同窓生の皆
様のさらなる御健勝と御活躍
を祈念申し上げます。

懐かしの先生より

下関女子短期大 学付属高等学校 を退職して

森中 登美子

私は、貴学校を退職して既
に十九年になる元一教員で
す。この仕事は、時に深い眼
差しを向けられた職業である

と同時に、プレッシャーの大
きい仕事でもありました。私
も同僚と共に、生徒たち
とっては心のよりどころとな
り、彼らが自分自身を発揮で
きるようになるよう応援をす
るのが役目だと、日々勤務に
励んでいました。

学校行事の時には、未熟な
りに、笑ったり泣いたり、集
団宿泊の際には一緒に風呂に
入って騒いだりと、まるで人
生を共に過ごしているかのよ
うな錯覚に陥ることも度々あ
りました。

退職後はゆとりある私生活
の時間が増え、ライフスタイ
ルも大きく変化しました。し
かし、私が高校教員として過
ごした時間は、今でも私の中
で大きな意味を持つていま
す。多くの素晴らしい生徒や
同僚たちと出会い、彼らの人
生の一部に関わることができ
たことは、私にとって非常に
貴重な経験でした。

この過程を通じて、私は導



くことの重要性に再度気づい
たのです。残された時間を生
かすには、細々と続けてきた
書道にじっくり取り組むこ
とでした。この決意は併せて
「生徒と共に」という職場で
の金言に、より近づくことに
もなります。現在は書道塾の
お手伝いをしています。若い
人達の進歩向上を見る楽しさ
は、何にも代えがたい貴重な
ものがあります。高等学校の
職員であった時の様々な経験
のお陰と感謝しています。

今、思うこと

西田 さとみ

令和二年、新型コロナウイルス
の足音が迫る三月、定年
を迎え教員生活に終止符を打
ちました。未知なる感染症の
脅威が世界を震撼させ自粛を
強いられる中、高齢の母の介
助はあるものの緩緩と毎日
を過ごしていました。コ
ロナ禍も収束に向かいつつあ
るこの頃は少し忙しく、地域
福祉活動のボランティアや地
域スポーツのコーディネー
ター、官公庁での面談業務な
どますます元気に暮らしてい

同窓会には私たちと同じよ
うに、この高等学校で過ごし
た方々が参加されていると思
います。今後も私たちの学校
への愛着を持ち続け、後輩た
ちを支え励ましていくことが
重要だと感じています。

最後に、同窓会総会を開催
される関係者の皆様に感謝
申し上げます。学校創立百周
年も間近ですね。一教員の私
も、期待して学校と繋がりを
持てた機会に感謝しておりま
す。

ます。

付属高等学校での長いよう
で短かった三十六年間を振り
返ると様々な出来事が思い出
されます。中でも伝統である
黒紋付に袴という凛とした出
立ちでの厳粛な卒業式は、思
い起こすと胸が熱くなりま
す。着付けや礼法の指導は大
変でしたが、晴れやかな姿に
三年間の成長を窺う事がで
き、その感動は新年度を迎え
る原動力でもありました。桜
山祭や体育大会、クラスマツ
チでの皆さんの活躍ぶりと頑
張りも忘れることはできませ
ん。

教科授業の体育では、規律

を重んじ怪我のないよう安全
に配慮しながら「楽しい授業」
をめざして取り組んだつもりで
す。身体を動かすことは元来
楽しいことであり、できない
事ができるようになる喜びや
達成感を味わって欲しかつ
た。補習や居残り練習など嫌
な思い出だという人もいるで
しょうが、課題が習得できた
時の笑顔はとても素敵なもの
でした。努力は実ると言いま
すが、直ぐではなくてもいつ
か必ず何かの役に立つはずで
す。立ち止まっても前を向き、
一休みしたら、諦めることな
く自分の人生を歩んで欲しい
と思っています。笑顔を大切
にして下さい。

校訓の誓いのごとく、学祖
河野タカ先生がめざされた教
育に、微力ではありましたが
一教師として関わられたことを
誇りに思い感謝しています。
河野学園の更なる繁栄と諸先
生方の益々のご活躍をお祈り
致しております。

最後になりましたが、桜山
同窓会総会の開催誠ににおめ
でとうございます。桜山同窓会
の益々のご発展と皆様のご健
勝とご多幸を心よりお祈り申
し上げます。

下関短期大学付属 高等学校の思い出

田中美由紀



私の下関短期大学付属高等学校との思い出は、私が高校生

校生のときが一番最初です。豊北高校（現下関北高校）バスケット部に所属していた私は、下短は良きライバル校でした。正直、長府高校や下関南高校といった強豪校は雲の上の存在で、試合相手が下短に決まると、わくわくしながら試合を楽しめた印象です。と言っても簡単に勝てる相手ではなく、当時双子の上手なプレイヤーに苦戦していたのと、小柄な角刈りの監督（岩本先生という方でしょうか）の厳しいご指導ぶりに、圧倒されないように食らいついていった、懐かしい思い出です。

うか、と不安な気持ちで運転しながらの訪問でした。それから十数年ぶりに、本校を訪れたのは、調理科の教員として勤務を依頼されたときでした。グラウンドにいたソフトボール部の生徒たちが、私に気づいて練習の手を止め、体をこちらに向けて元気な挨拶をしてくれたことに、とても好印象を受けました。この生徒たちとならやるかもしれない、と長いブランクを経て教員という仕事をするこへの勇気をもたらしたのを覚えています。

重な体験だと思えます。今後、長きに渡る伝統を継承し、生徒たちが飛躍し続ける場として、下関短期大学付属高等学校の益々の発展を心より祈念いたしております。

活躍する卒業生

音楽科卒から 琉球民謡歌手！ アラフィフの私

林（佐藤）輝美
（一九九一年卒）

一九七二年生まれ、八十八年に音楽科ピアノ専攻に入學し卒業後は音大に進学することを夢見ていた私は経済的な事情で進学叶わず卒業後は下関大丸に入社。無我夢中で仕事を頑張るながらも心にぼつかりと穴が空いたような数年。成人式の後、同僚と初めての沖縄旅行へ。観光バスでガイドさんが歌ってくれた安里屋ゆんたという琉球民謡に感動し土産店で琉球民謡集のカセットテープを買って帰り聴くうちに今度は自分で三線弾いて歌ってみたいと思いついて半年後ひとりで沖縄に三線を買って行く。私の中ですっかり理想郷となった沖縄、二十二歳目前に大丸を辞め単身沖縄移住。音楽科で鍛えた音感のおかげでたくさん曲を覚え当時は若手が少なかったのでアツという間に琉球民謡歌手になってしまった。本土出身ということから新聞雑誌テレビ等たくさん取材して頂き気付けば琉球放送テレビ、ラジオでレギュラー番組まで持っていた。朝晩忙しく充実しているようでも心の中では『沖縄でのんびり暮らすはずが北九州に居た時より忙しく余裕がない』と自問自答。そんな中、妊娠がわかり体調も崩した。結婚して念願の専業主婦、子育てを楽しんだが夫と価値観の違いを埋められず五歳の娘を連れて北九州に戻った。平日は仕事、週末は門司の沖縄料理店



で琉球民謡教室を開かせてもらい娘とのささやかな生活を楽しんでいたが娘が八歳になる頃、今の夫と再婚。現在は小倉南区の自宅で琉球民謡教室を開いて歌三線を指導、依頼があれば市民センター等で演奏したり沖縄文化の魅力伝える講演会を行っている。

娘も巣立った今、いちばんの楽しみは下短付属高音楽科の同級生達とたまに集まってる長いティータイム♪卒業後それぞれの道に進み子育てに励んだりピアノ教室で多くの弟子を育てたり意外な才能が花開き数々の作品を生み出していたり、そんなゆかいな仲間たちとの小さな同窓会をいつまでも続けてみんな楽しんで歳を重ねていきたい。

前を向いて

三牧由貴

（平成二十三年普通科卒業）

平成二十三年に卒業してから早くも十二年が経ちました。高校生活を思い返すと、毎日バスケット部の活動に明け暮れる日々だった事や授業で友人と一緒にピアノの練習をし



た事を思い出します。今だから言える事ですが、部活に取り組む中で自分の下手さや人間関係などが嫌になり、毎日とても大変で何度も逃げ出したいと思う事はありませんでした。しかし、今では辞めないうで続けて良かったと思っています。保育の仕事をする中で大変な事や辛い事が沢山ありますが、部活で培った経験から様々な事を仕事に活かせるからです。例えば、先輩や同期との関係がうまく築けないと悩んだ時は、避けて自分から分からない事は聞いたり、持ち帰りの仕事が多く寝不足が続いて辛くなった時は、計画から見直して早目に準備をしたり、まだまだ色々ありますが辛いから逃げるの

ではなく、まず自分自身を見つめ直し工夫しながら、そして子ども達に元気をもらいながら何とか十年保育の仕事が続ける事が出来ています。ですが、後悔している事も一つだけあります。それは、高校の時からピアノの授業にもっと真面目に取り組んでいれば...と思うことです。高校では、友人と一緒にピアノの練習をしていたおかげで分からない事は教えてもらいながら楽しくやっていたのですが、仕事となれば楽しく弾くことだけでなく弾き歌いも必要です。季節の音楽やリトミックを積極的にしなければなりません。現在は簡単な楽譜を探したり、時に園の先生方のお力を借りたりしながら、少々苦戦しつつも毎日子ども達と楽しく歌いながらピアノを弾いています。今を全力で楽しむ事も大切ですが、将来を考えて行動する事も大切だと改めて感じています。自分の気持ちと上手に向き合いながら、前を向いてこれからの人生は後悔の無いように過ごしたいと思います。

(下関短期大学付属第一幼稚園勤務)

卒業生に聞いた
5つの質問

- ①現在の職業
- ②付属高校に入学した理由
- ③在学中、最も熱中したこと
- ④一番大変だったこと
- ⑤同窓生へのメッセージ

金子(桂) 三千代

昭和六十二年 音楽科卒業

- ①飲食店 店長
- ②音楽科があったから。
- ③部活(ほどほど)、ピアノは、今までで一番練習した時期です。
- ④試験中、寮には消灯時間があったので廊下で勉強していました。
- ⑤今は全く違う仕事をしており、誰もピアノをしていないなんて思ってもくれませんが、その分だけ誇りに思っています!

K・T

平成七年 音楽科卒業

- ①中学校補助教員
- ②進路を決める時、音楽の道に進もうと決意しました。

- ③音楽の専門的な授業が楽しかったです。
- ④皆の前で演奏する実技試験の緊張感は忘れられません。皆で切磋琢磨していました。
- ⑤人生一〇〇年代！仕事や趣味でも音楽魂を胸に、色々なことに挑戦し続けていきたいと思っています。

平井 里佳

平成二十六年 普通科卒業

- ①看護補助者
- ②オープンスクールでの学校の雰囲気
- ③生徒会。沢山の貴重な経験をして、今でも自分を作る大切な考えになっている出来事がありました。
- ④三年生の時の文化祭。理想や目標、生徒会長としてのプレッシャーに押しつぶされそうになっていました。しかし、沢山の人の優しさが不安から救ってくれました。
- ⑤最近、会う機会のない同級生も沢山いますが、皆で過ごした三年間は宝物です。どんなことがあっても、皆が笑顔で幸せな毎日を送れていますように!

卒業生総数

●河野高等芸芸院	科	116名
本	研究科	22名
専	攻科	15名
	計	153名
●河野高等女学院	科	287名
本	研究科	46名
	計	333名

令和5年度在校生

261名

●下関河野高等家政女学校	科	704名
本	研究科	6名
	計	710名
●中学校計		627名
●高等学校	別	117名
	専攻科	13名
	商業科	400名

家	政	科	1,368名	
通	通	科	3,430名	
生	活	教養科	490名	
く	ら	し	デザイン科	214名
			音楽科	977名
			調理科	99名
			計	7,108名
卒業生総数(令和5年3月現在)				
			計	8,931名

輝け!! 下短付高! 部活動紹介

バレーボール部

顧問 大井 優希

現在十二名で山口県一位を目指して日々練習に励んでいます。目標を達成するために精進いたしますので、応援よろしくお願い致します。



バスケットボール部

顧問 藤井 大輔

部活動を通して『選手としての成長』『高校生としての成長』『何事にも積極的に取り組む心』のレベルアップを目指し、日々の練習に励んでいます。ここ二年程、人数不足で合同チームでの出場という少し残念な状態があります



が、選手たちは明るく前向きにプレイしてくれています。ぜひ後輩たちを見守っていただけたらと思っております。応援よろしくお願いいたします。

ソフトテニス部

顧問 久末 剛

現在三年生六人、一年生三人計九人で活動しています。先輩方が作り上げてきた伝統あるテニス部で毎日、熱い練習をしています。目標の中国大会出場に向け、日々、精進していきたいと思っております。



ソフトボール部

顧問 村岡 範彦

ソフトボール部です！現在三学年合わせて十三人で活動しています。年二回ある全国大会に向けて練習に励んでいます



す。ぜひ見かけたら声をかけてください！

華道部

顧問 高山 祐一

毎週火曜日の放課後、楽しい雰囲気の中にも真剣な面持ちで稽古に励んでいます。池坊華道を学び、小品からリース、本格的な生花まで幅広く精進することによって、たおやかな心と立ち居振る舞いを身に付けることのできる魅力的な部活動です。

箏曲部

顧問 長尾 昌子

心癒される和の音色。週に一度、部員八名で活動しています。山口県高等学校総合文化祭や下関邦楽大会に出演しています。

茶道部

顧問 石崎 聡恵

毎週火曜日の放課後、裏千家茶道のお点前を練習しています。茶道の魅力は、日本の四季を感じさせる和菓子や床の間に飾られた美しい茶花を目で見て感じられることです。また、美しい身のこなしや礼儀作法も身に付けること

ができます。

美術同好会

顧問 村岡 真樹

今年度は六名の新入会員を迎え、総勢十七名になりました。昨年度の桜山祭では、全会員で縦二・五mの立て看板を完成させ、同好会展も開催しました。市美展や各種コンクールに積極的に出品し、入賞・入選を果たした会員もいます。創作を通じて相互の信頼感や自分自身への肯定感を高め、一層飛躍してくれることを期待しています。

パソコン同好会

顧問 豊島 秀則

現在ゲームを通じて親睦も深めながら活動しています。そのおかげで部員数も増え、明るい雰囲気になっていきます。今後も活動を通して、学校生活を楽しんでほしいと思います。

スポーツ同好会

顧問 宮地 肇

一年生十五名、三年生五名の計二十名で活動しています。週に一回体育館でバドミントンをすること、希望者はそ

れ以外に筋力トレーニングも行っていきます。バドミントン経験者は少ないですが、みんな楽しく汗を流しています。

リエートムジカ同好会

顧問 長尾 昌子

今年度から同好会として活動しています。合唱・合奏に加えて、ストンプの演奏にも力を注いでいます。同好会名のように「音楽をしたら嬉しくなる！楽しくなる！」そんな活動にしていきたいと思っています。

編集後記

同窓会誌編集にあたり、多くの方々にご協力いただきありがとうございました。なかなかお会いすることのできない先輩方と交流できたこともとても嬉しく思います。これからも同窓会に関わっていく、機会があれば幹事としてお手伝いさせていただきます。



塩田華子
林 苺花

令和五年度桜山同窓会幹事